

令和7年度（2025年度）

管理事業名	博物館事業				総合計画 の体系	大綱	7	都市魅力		
						政策	2	文化・スポーツに親しめるまちづくり		
						施策	2	文化財の保存と活用		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	8	博物館費
部局名	地域教育部	予算執行 所属	文化財保護課							
事業の目的と概要										
・地域の歴史・文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していく。また、その成果を様々な展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の歴史・文化を発見、見直し、創造していく。 ・市民が集い、多様な体験を生かしながら主体的に博物館活動に参加することで、様々な連携を深め、市民生活を豊かで潤いのあるものとする。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
特別展等回数	回	6	6	5	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数	数	7	7	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	40,820	41,528	42,405	良好な状態で保管している館蔵資料の数

II 活動実績・成果

【成果指標1】 特別展等回数についての評価 ・令和7年度は特別展等の企画展示を5回開催した。例年別の時期に開催していた「さわる月間」と「博物館実習展」を組み合わせ1つの企画展示としたため、回数は前年度から1回減少したが、大学生の視点を取り入れることで、より若者にもわかりやすい発信とするなど充実した内容となった。 ・特別展等のそれぞれのテーマに関連する講演会・講座等は延べ84回実施し、うち29回は子供・親子を対象とした。 ・各展覧会の来館者アンケートでは、展示内容について約90%が「とてもよかった・よかった」としており、展示内容に対する満足度は高かった。	【その他の活動実績・成果】 ・学校教育との連携では、小学校3年生の社会科の学習に連動した「むかしのくらしと学校」展を開催し、19校の見学があった（令和6年度は22校）。見学した教員からは、「体験が多くてよかった」「子供たちの理解が深まった」という意見があった。また、中学校のキャリア教育では、職業体験の受入れや、学芸員を派遣する職業講話などの支援を進めた。また、教育センター教育支援教室の児童・生徒にも職場体験を行い、文化財に触れる機会を提供した。 ・博物館所蔵資料データベースの資料登録数は19,834点となり、前年度と比較して1,010点増加した。データベースはホームページ上に公開し、所蔵資料の活用促進を図った。 ・博物館協議会を開催し、事業の実績や計画を報告するとともに、当協議会委員による外部評価を受け、運営の改善や事業の水準の維持向上に努めた。 ・令和7年度（2025年度）から5年間の第4次中期計画重点項目に基づき、常設展リニューアルの検討、市内史料所在確認調査、市民参画の在り方の検討を行った。
【成果指標2】 刊行物数についての評価 ・展示図録、博物館だより、博物館館報等を刊行し、調査研究の成果を公表した。	
【成果指標3】 収蔵資料数についての評価 ・吹田の歴史を明らかにするための資料収蔵を進め、館蔵資料数は前年度と比較して877点増加した。 ・適正な保管環境を維持するため、館内の害虫や浮遊菌等のモニター調査を4回を実施するとともに対応を行った。また、新規収蔵資料に対しては燻蒸によって殺虫・殺卵処理を行った。	【財務情報に基づいた評価】 施設老朽化比率が63.4で前年度と比べて2.2ポイント増加している。

III 課題と今後の取組

令和8年度から令和12年度の間に実施予定の大規模改修に合わせ、令和7年度実施の市民ニーズ調査の結果に基づき、「体験」と「子供」をキーワードに、常設展示等のリニューアルを図りつつ、展示の充実・体験型イベントの企画・運営を計画する。 公共施設（一般建築物）個別施設計画に基づく大規模改修や常設展示リニューアルは、関係各所と調整しつつ進める必要がある。	調査研究、資料の収集及び公開といった博物館の役割を十分発揮するため、資料のデジタル化の推進等に努め、博物館資料データベースを充実させるなど、市民が利用しやすい博物館となるよう取組を進める。 博物館資料等の収蔵施設確保が課題となっているため、資料の収集・保存方針の策定を検討する。
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	5,764	6,214	450
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,764	6,214	450
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	49,101	49,935	834
有形固定資産	1,194,602	1,124,869	△69,733	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,194,602	1,124,869	△69,733	退職手当引当金	49,101	49,935	834
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	297	297	-	負債の部合計	54,865	56,148	1,284
有形固定資産	-	-	-	純資産	1,146,033	1,075,017	△71,017
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	49,101	49,935	834
重要物品	6,000	6,000	-	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,200,898	1,131,165	△69,733
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,200,898	1,131,165	△69,733				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	677	665	785	120
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	600	532	532	△1
経常収入 小計(a)	1,277	1,197	1,317	120
経常費用				
給与関係費	71,543	75,469	76,635	1,166
物件費	79,743	80,932	71,754	△9,178
維持補修費	1,523	1,412	1,396	△15
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	843	778	758	△20
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	69,989	69,861	69,733	△128
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,372	5,764	6,214	450
退職手当引当金繰入額	9,913	4,902	2,837	△2,066
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	238,927	239,119	229,327	△9,792
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△237,650	△237,922	△228,011	9,911
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△237,650	△237,922	△228,011	9,911
一般財源充当額	159,380	166,762	156,994	△9,768
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△78,270	△71,160	△71,017	143

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,277	1,197	1,317	120
行政サービス活動支出	160,657	167,959	158,311	△9,648
行政サービス活動収支差額	△159,380	△166,762	△156,994	9,768
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△159,380	△166,762	△156,994	9,768
一般財源充当額	159,380	166,762	156,994	△9,768
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】 建物・工作物	施設の減価償却による減 △69,733千円
【PL】 物件費	主に警備業務など委託料の減 △9,178千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者1人	コスト 14,604 円 実績 16,360 人	12,259 円 19,506 人	10,281 円 22,307 人
開館日1日	コスト 818,243 円 実績 292 日	827,401 円 289 日	785,368 円 292 日
分析内容	参加型イベントの実施等により利用者が増加したため、単位当たりのコストは減少した。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	71,444	3,274	7.50
会計年度任用等	10,540		
特別職非常勤	3,701		
合計	85,685		

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		58.9	61.2	63.4	2.2
施設維持補修費比率		0.0	0.0	0.0	0.0
経常費用対公共資産比率		7.8	7.8	7.5	△0.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.3	0.3	0.3	0.0
一般財源充当比率		99.2	99.3	99.2	△0.1